

第 29 回 中部地盤工学シンポジウム 論文募集

主催：公益社団法人 地盤工学会 中部支部
後援：一般社団法人 建設コンサルタンツ協会 中部支部
一般社団法人 日本建設業連合会 中部支部
一般社団法人 日本応用地質学会 中部支部
一般社団法人 中部地質調査業協会

日 時：平成 29 年 8 月 2 日（水） 9：00～17：30 （予定）
会 場：名古屋大学 ES 館 ES ホール

地盤工学会中部支部では下記要領で中部地盤工学シンポジウムを開催致します。教育機関の方々はもちろんのこと、官公庁、コンサルタンツ、建設業など各分野の皆様におかれましても積極的なご投稿とご参加をお願い申し上げます。なお研究論文については、参加の事前登録をして頂くと、Web からのダウンロードして頂けるようになります。また、研究論文は、研究発表から約 6 カ月後に地盤工学会中部支部の HP 上で一般にも公開されます。

□ 特別講演

第 29 回のシンポジウムでは以下の 2 つの特別講演を予定しております。

「大震法は地震防災に役立つか ー 成立の過程と問題点 ー」

安藤雅孝 先生（名古屋大学名誉教授／静岡大学防災総合センター客員教授）

「BCP において地質・地盤専門家がになうべき役割 ー 基礎地盤問題の重要性 ー」

豊蔵 勇 氏（大同大学非常勤講師／ジオ・とよくら技術士事務所）

□ 論文発表申込み要領

テーマは自由ですが、今回は地震防災に関するご投稿を多数お待ちしております。これ以外のテーマに関する原稿も是非ご投稿下さい。

(1) 論文投稿者は中部支部の会員に限ることはしません。

(2) 論文発表の申込みは、以下の①～⑤をご記入の上、平成 29 年 4 月 21 日(金)までに E-mail で下記申込み先にお送り下さい。

①論文題目、②概要(400 字程度)

③発表者について：氏名とその読み仮名(ひらがな)・所属・年齢・会員の場合は会員番号

④連名者について：氏名・所属

⑤連絡先(連絡代表者氏名・住所・電話番号・E-mail address)

※発表者がどなたか明確にわかるように記入してください。

※申込みメールを事務局にて確認しましたら、受信したことをお伝えするメールを申込者へ返信いたします。申込から一週間程度経過しても返信がない場合は、メールが届いていない恐れがありますので、お手数ですが再度ご連絡をお願いいたします。

(3) 論文原稿作成をお願いする方を中部支部シンポジウム部会で検討し、平成 29 年 5 月末までにその結果を上記⑤連絡代表者の方にご連絡します。一般発表として、全 18 編ほどを予定しております。投稿多数の場合にはやむを得ずご辞退いただく場合がありますのでご了承ください。

(4) 発表していただく論文原稿は、執筆要領に基づいて 4～8 ページとします。

なお、詳細は論文の採否のご連絡の際にお知らせします。

(5) 論文原稿は平成 29 年 6 月 11 日(日)までに E-mail で下記宛てにご提出下さい。(締切厳守でお願いします。)

(6) 投稿料は 5,000 円(学生・非会員の区別無し。)

(7) 参加費は会員(特別会員を含む)3,000 円、学生会員 1,000 円、非会員 5,000 円、61 歳以上の正会員/特別会員 2,000 円(シニア割引)。投稿料をお支払いいただいた方の参加費は不要です。

(8) もっとも優秀な論文をご発表いただいた方 1 名に支部賞が与えられます。表彰対象者は支部規定により当該年度の 3 月 31 日現在において 40 歳以下の地盤工学会の会員の方といたします。支部賞の受賞者には、国土交通省中部地方整備局の総合評価方式等の入札・契約手続きにおいて、支部表彰が信頼度(優良表彰)の項目で加点対象になっております。なお、詳細については、中部地方整備局ホームページ <http://www.cbr.mlit.go.jp/contract/sokuryou/index.htm> (建設コンサルタント業務における入札・契約手続きに関するガイドライン)を参照ください。

その他：シンポジウム当日のプログラム・一般参加申し込みと事前登録方法の詳細につきましては、7 月上旬に地盤工学会中部支部の HP(<http://www.jgs-chubu.org/>)に掲載します。

